令和７年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯採択地区協議会

種　目	発行者名	選　定　理　由
国　語	38　光　村	１ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　単元の配列については、教材につながりをもたせ、資質・能力を活用して学びを深めたり、異なる領域で同じ話題を扱い、考えを深めたりする工夫がみられる。また、教材の後に設定した「学びのカギ」を手掛かりに、「学びへの扉」に沿って学習することで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。 ２ 内容や指導の充実 　主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。 ３ 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性については、「ICT 活用のヒント」において、各領域での ICT の活用場面や参考となる資料を示し、効果的に ICT を活用することができる工夫が見られる。 ４ 地域の思いや願いに対する配慮 　「語彙を豊かに」や巻末「語彙ブック」において、語彙力を鍛え表現を豊かにする方法を系統的に示しており、積極的に表現する力を高めるための工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
書　写	38　光　村	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の３段階の学習過程となっており、「学びのカギ」において学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自分で課題を発見させたり、「コラム」において、文字に関する様々な問いを投げかけ、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。 3 利便性の向上 　生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆遣いのポイントを理解しやすくする工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　単元や学年のまとめにおいて、習得した知識・技能を教科や実際の生活に生かす活動を位置付けており、積極的に表現する力を高めるための工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
社　会 （地理的分野）	2　東　書	1　教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　社会科地理的分野の目標を達成するために、章の構成は、「課題をつかむ」、「課題を追究する」、「課題を解決する」という流れで構造化され、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。 2　内容や指導の充実 　未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元の終わりに「探究課題を解決しよう」が設定してあり、地域のこれからについて、思考・判断・表現し課題を解決する力を高めるような工夫が見られる。 3　利便性の向上 　生徒にとっての分かりやすさについては、導入で印象的な写真を掲載し、興味・関心を高めさせたり、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習内容の見通しをもたせたりする工夫が見られる。 4　地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向けて、学習課題の横の二次元コードから、毎時間ごとに適切なコンテンツを活用することができる。写真、統計、白地図、雨温図等に触れ、資料を選択することで、生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせることのできる工夫が見られる。 　また、積極的に表現するために、単元の流れは構造化され、単元末に設定された「まとめの活動」では、様々な思考ツールや、「みんなでチャレンジ」での具体的なグループ活動が紹介されている。生徒が課題を探究しまとめる単元構成を確立することで、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
社　会 （歴史的分野）	2　東　書	1　教科目標の達成及び単元（題材）の構成･配列等 　社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てることができるような工夫が見られる。 2　内容や指導の充実 　未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 3　利便性の向上 　生徒にとっての分かりやすさについては、各ページ下の「チェック＆トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめと、そのまとめを基にした探究課題の解決が効率的に行える工夫が見られる。 4　地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向けて、各章末に年表やグラフ、絵画資料などを読み取るコーナーを設け、また技能を活用する活動コーナーを設けて、資料を活用する力を高める工夫が見られる。また、本文ページに、「チェック／トライ」が設けられ、「まとめの活動」コーナーでは思考ツールを活用し、「みんなでチャレンジ」で対話的な活動に取り組める工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
社　会 （公民的分野）	２　東　書	１ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。 ２ 内容や指導の充実 　学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや社会に参画する態度を養う「18 歳へのステップ」を設けるなどの工夫が見られる。 ３ 利便性の向上 　生徒にとっての分かりやすさについては、導入からまとめまでの学習の流れが分かりやすくデザインされており、学習のまとめでは思考ツールを使って自分の思考を整理し、課題解決につなげる工夫が見られる。 ４ 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向けて、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して学ぶことができる工夫が見られる。小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーが適宜設けられ、対話的な活動を効果的に行う工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
地　図	46　帝　国	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 社会科の目標を達成するために、巻頭では、凡例、地図記号や方位、巻末では地形図について解説されており、地図帳の基本的な見方や使い方が示されている。 2 内容や指導の充実 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、世界の各州・日本の各地方の主題図をほぼ同縮尺で提示したり、日本の各地方のページに産業の特徴を捉える統計資料を配置したりするなどの工夫が見られる。 3 利便性の向上 生徒にとっての分かりやすさについては、世界の各州に、自然環境や生活・文化・産業などをイラストで表記した鳥瞰図を掲載することで、関心を高めながら特色がより視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 問題解決に向けて、世界地図には、イラストがついた同じ鳥瞰図を併用し、地図には土地利用表現と等高段彩表現を併用している。この地図帳の使い方や統計資料やさくいんを巻頭末に豊富に掲載したり、「地図で発見！」やQRコンテンツを設けたりするなど、必要な資料を選択しながら考えを深め、判断する工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
数　学	61　啓林館	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成･配列等 　数学科の目標を達成するために、基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめる振り返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　数学的な見方・考え方を働かせるために、２つの標識「学びをひろげるときに役立つ考え方」、「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ、単元末では、わかったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性を図るため、単元内にある節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるために、すべての単元にある「○○の利用」では、数学的な問題発見・解決の過程を重視した内容を設けている。「学びをいかそう」では、興味・関心や習熟度に応じて取り組むことができる、数学の世界や身のまわりで活用する課題を豊富に掲載するなどの工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
理　科	61　啓林館	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　理科の目標を達成するために、単元の導入において、「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」を設け、様々な知識を活用して解決することのできる問いを設定し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。また、同じ問いを、単元末に「学んだ後にリトライ！」として設け、科学的に探究できるような構成・配列等の工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に１つ、「探Ｑ実験」を設定し、「探Ｑシート」により生徒の主体的な学習を支援している。また、「Action 活用してみよう」など、発表や活動の場面を設定することで学びを深めるような工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性を高めるために、ICT をどの場面でどのように使うのかを明記している。また、章ごとの「Review」の中で、学びの過程の振り返りを意識できるような工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向けて、章の的確な部分に「みんなで探究クラブ」「深めるラボ」を配置して探究を促す工夫が見られる。章末の「力だめし」で探究力の確認につなげている。積極的に表現する資質・能力を高めるために、「例題」「学習のまとめ」「基礎練習問題」を配置するばかりでなく、「サイエンス資料」の中に、数学の考え方を取り入れるよう教科の連携ができる工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
音楽 （一般）	17　教　出	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　表現及び鑑賞の幅広い活動を実現させるために、教材と選択可能なオプション教材・資料を組み合わせて扱うことができるような工夫がされている。歌唱、鑑賞、創作の分野が関連付けて構成されており、学習内容や教材が一目で分かるように「学習ＭＡＰ」として示す工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の鑑賞領域に、「話し合おう」のコーナーが設けられ、自分の考えや感じ取った曲想、共通点や相違点等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。 3 利便性の向上 　生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽界の第一線で活躍している方からの音楽に対する思いや中学生へのメッセージが掲載されている。また、学習内容を視覚的に示すために、折り込みを使ったワイドな写真の掲載やイラスト、色分けなどの工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向け、必要な情報を読み取るために、冒頭に適切な学習の進め方を示す「学習ＭＡＰ」が分野ごとに提示されており、各題材の内容を明確化するような工夫が見られる。 　また、「Active！」や「比べてみよう」での活動は、深く考えるために必要となる項目が精選されており、順序だてながら考えることができる構成となっているなど、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
音楽 （器楽合奏）	17　教　出	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、友達と一緒に演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲の充実が見られる。 2 内容や指導の充実 　生きて働く「知識・技能」の習得のために、学習に役立つ演奏や動画を試聴できる二次元コードや、焦点化した写真を示すといった工夫が見られる。また「合わせて演奏しよう」（「Let’s　Play！」「Let’s　Try！」）の中から、学校や生徒の実態に応じて楽曲を選択できるようになっており、習得した知識・技能を活用することができるように工夫されている。 3 利便性の向上 　個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されていたり、既習事項を振り返ることができるページを示したりといった工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向け、必要な情報を読み取るために、楽器の特徴や基本的な奏法について写真や図版を多く掲載したり、表現の仕方を比べるページを掲載したりするなどの工夫が見られる。 　また、学習に役立つ動画やワークシートを見ることができるデジタルコンテンツ「学びリンク」が設置されているなど、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
美　術	116日　文	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成･配列等 　美術科の目標を達成するために、表紙や巻頭の見開きページの作品から題材につなげていくことで学びのつながりを意識させるとともに、各学年の発達の特性に即した題材の構成・配列の工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　各題材の学習で、必要な知識・技能の基礎を支え、生徒が自分の思いを基に活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて各巻末にまとめられている。また、題材導入時に二次元コードを配置しており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。 3 利便性の向上 　表紙は、西洋・日本・現代美術の代表作品が掲載され、表紙から裏表紙にわたって作品が掲載されており、オリエンテーションの鑑賞教材としても活用できるなど教科書への興味･関心をもたせる工夫がされている。また、３年間の発達の段階に合わせて系統立てられた学年ならではの題材が工夫され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びを支える資料」を設け、各学年のねらいに関連した知識及び技能の習得に加え、「多様性と共同制作」「社会と関わる美術」についてスポットを当てて集約されるなど、３年間を通して、３分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　考えを深め、判断し、積極的に表現する資質･能力を高めるために、すべての題材に導入動画「学びのはじめに」が提示され、題材や制作内容を主体的に捉えたり、生徒の興味を引いて発想や構想を深めたりするような工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
保健体育	２　東　書	１ 教科目標の達成及び単元(題材)の構成･配列等 　単元の配列に関しては、１単位時間の流れとして「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」等の６段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、さらに「巻末スキルブック」を設け、実生活で活用できるような工夫が見られる。 ２ 内容や指導の充実 　未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、小単元ごとに「活用する」「広げる」を設定し、学習を通して習得した知識・技能を活用し、再考するなどの実践力を育む工夫が見られる。 ３ 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性については、１単位時間の内容を見開き２ページに収め、各ページ左側本文、右側資料となっており、本文の内容に関する資料をすぐに確認できるなど、視線に配慮し、知識を確認するための資料の活用がしやすい工夫が見られる。 ４ 地域の思いや願いに対する配慮 　必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、１単位時間における資料とともに、二次元コードや「章末資料」として各章の学習に関連した資料が豊富に掲載されている。また、思考を促すキャラクターの発言や、資料を深く読み取るための視点を「ポイントマーク」として示すなど、論理的思考を促す工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
技　術	9　開隆堂	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　技術分野の目標を達成するために、生活や社会の中にある技術に気付かせながら基礎・基本を習得させ、「問題解決→実習例→学習のまとめ」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を身近な製品の特徴から気付かせるなどの工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に４段階の問題解決学習の流れを説明し、製作の例を数多く掲載してある。また、「やってみよう」の発問で協働学習をしやすくする工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、製作等の手順に沿って作業を進めることができるように、実習例を多く掲載したり、二次元コードから動画や資料などのデジタルコンテンツを活用できたりするなどの工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するために、既存製品などを例に、技術のしくみを調べ、改善点について思考できるワークシートが各内容で位置付けてあり、技術の見方・考え方を深めるための工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
家　庭	9　開隆堂	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　構成・配列については、導入から振り返りまで中学生が体験しがちなエピソードや、学習者の思考を揺さぶる問いを随所に盛り込むことで、より自分事として問題を見つけたり、解決に努めたりして、よりよい生活の実現に向けて、自ら考え判断していけるような力を身に付けられるような工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　生活の自立に必要な「知識及び技能」を習得させるために、内容を厳選して的確に記述し、また、調理実習では「調理方法 Q＆A」を取り上げ、科学的根拠に基づいた理解を深めることができるように工夫されている。さらに、「生活の課題と実践」を巻末に項目を立て、学習で習得した「知識及び技能」を実生活で活用しながら定着を図れるような工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性については、技能面の写真が詳細で分かりやすく表現され、細部については拡大写真やイラストを添えたり、目には見えない栄養素なども科学的に可視化したりすることによって、見方・考え方を広げながら理解が深まるような工夫がみられる。また、学習内容に QR マークを付けることで豊富なコンテンツから、取捨選択して主体的に活用できるような工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　必要な情報を読み取り、積極的に表現するために、教科書全体を通して、経験を踏まえた問題の気付きや思考を引き出すことで、自分事として捉えさせられるような工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
英　語	9　開隆堂	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　単元の構成・配列等に関しては、各 Program を「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review & Retell」「Action」「英語早わかり」で構成し、新出表現を繰り返し取り扱うことで確実な基礎・基本の定着が期待される。特に、「Scenes」では、マンガ形式や朱書きで新出表現が導入されており、巻末の CAN-DO リストが「とびら」に示されている表現とリンクしていることで、自身が1年間を通して身につけた表現がわかるという工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　主体的・対話的で深い学びを展開させるために、Scenes と本文の場面設定が統一され、かつ同じ言語材料を扱うことで使用場面が明確になっている。また、各 Program における様々な言語活動で活用した表現を「Our Project」で統合的・発展的に活用する工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や使用上の利便性については、「Scenes for Basic Dialogs」で、導入→理解→自己表現の流れが同じアイコンで示され、学習が進めやすくなっている。また、各学年の「Our Project」の目標が示されているので、1年間の学習の見通しをもち、3年間の到達目標がわかる工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　単元を通して、冒頭に「こんな表現ができる！」を明示することで見通しをもたせ、「Scenes」「Part」「Review & Retell」「Action」の構成の中で、段階的に表現活動を発展させながら、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。 　また、問題解決に向けて「Review & Retell」では、要点の確認から表現を広げ、細かなステップを踏みながら、「Action」での自己表現につなげるなど、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。

種　目	発行者名	選　定　理　由
道　徳	116日　文	1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 　道徳科の目標を達成するために、多様性の尊重とSDGｓに関わるテーマを教材ごとに設定し、一部を同じテーマでユニット化して年間で複数配置することで、現代的課題についての考えが深められるような構成・配列の工夫が見られる。 2 内容や指導の充実 　多面的・多角的な考え方ができるように、「学びを深めよう」では問題解決的な学習や体験的な学習の流れと資料を提示し、生徒が話合い活動や役割演技を通して道徳的価値にせまるような工夫が見られる。 3 利便性の向上 　学習効果や利便性については、巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」や「ミニ教材で考えてみよう」で設けることで、学びの見通しがもてるような工夫がなされている。また、別冊「道徳ノート」を併用することで、生徒自身が考えを記録し積み上げ、振り返ることで成長を実感できるような工夫が見られる。 4 地域の思いや願いに対する配慮 　問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように「気づく」「考え・議論する・深める」「見つめる・生かす」の「３つのステップ」の学習要素を設け、学習の流れと内容把握をしやすくする工夫が見られる。 　積極的に表現することができるように「問題解決的な学習」「体験的な学習」の教材には、「学びを深めよう」を設け、さらに別冊「道徳ノート」の併用で自己の成長を振り返るために考えを記録することで言語活動の充実が図られる工夫が見られる。